

# させぼ 市議会だより

令和4年4月臨時会・5月臨時会・6月定例会  
令和4年8月1日発行

No.425



議会運営委員会



全員協議会

## 4月臨時会・5月臨時会・6月定例会のあらまし

～九州・長崎特定複合観光施設区域整備計画  
の認定申請に係る同意の件等を可決～

4月臨時会は、4月14日から15日までの2日間の日程で開催し、条例1件、その他の議案1件を可決、報告2件を承認しました。

～令和4年度一般会計補正予算（第2号）等を可決～

5月臨時会は、5月30日に開催し、令和4年度補正予算1件、条例1件、議会関係議案2件を可決、報告1件を承認しました。

～令和4年度一般会計補正予算（第4号）等を可決～

6月定例会は、6月14日から6月30日までの17日間の日程で開催しました。20日には先議案件として、令和4年度補正予算1件を可決しました。

20日、21日、22日は一般質問（3日間・15名）を行いました。

23日、24日、27日には各常任委員会を開催し、付託された議案について審査を行いました。

30日には、令和4年度補正予算4件、条例4件、その他の議案6件、意見書案1件を可決、報告1件を承認、3月定例会で継続審査としていた請願1件を採択、人事案件2件に同意しました。

## 目次

4月臨時会・5月臨時会・  
6月定例会のあらまし

議決結果、主な議案 . . . P 1

委員会の審査から . . . P 2

一般質問 . . . P 4

政務活動費収支報告 . . . P 7

議会の活動 ほか . . . P 11

. . . P 12

# 議決結果

4月臨時会、5月臨時会及び6月定例会の議決結果は次のとおりです。

## 全員が賛成した議案

### 4月臨時会

議案名	
条 例 ※1	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正
報 告 ※1	令和3年度一般会計補正予算（第23号） 市長専決処分報告
	国民健康保険条例の一部を改正する条例に係る市長専決処分報告

### 5月臨時会

議案名	
令和4年度 補正予算 ※2	一般会計（第2号）
条 例 ※2	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定
報 告 ※2	工事請負契約（変更契約）締結に係る市長専決処分報告（前畑崎辺道路道路改良（第1トンネル）工事）

### 6月定例会

議案名	
令和4年度 補正予算 (先議案件) ※3※4	一般会計（第3号）
令和4年度 補正予算 ※4	一般会計（第4号）
	国民健康保険事業特別会計（第1号）
	介護保険事業特別会計（第1号）
	後期高齢者医療事業特別会計（第1号）
条 例 ※4	過疎地域等における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正
	市税条例の一部改正
	手数料条例の一部改正
	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
一 般 ※4	工事請負契約締結（新田住宅5番館建替（建築）工事）

議案名	
議会関係 ※2	議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部改正
	市議会の権限に属するものを市長の専決処分とする事項指定

議案名	
一 般 ※4	工事請負契約（変更契約）締結（俵ヶ浦地区港湾施設整備工事）
	市有財産取得（連続帳票高速プリンタ）
	市道の認定（認定6路線）
	地方独立行政法人佐世保市総合医療センター一定款の一部変更
	事業契約（変更契約）締結（中央公園整備及び管理運営事業）
報 告 ※4	令和4年度水道事業会計補正予算（第1号） 市長専決処分報告
人 事 ※4	農業委員会委員任命
	固定資産評価審査委員会委員選任
意 見 書 ※4	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

賛否が分かれた議案

4月臨時会

○：賛成、×：反対

議案名	会派名及び所属議員名	自民		市民		公明		共産		歩み		市政		葉風		議決結果
		松尾 裕幸 田山 藤丸 鶴 大地 角田隆一郎 橋之口裕太 北野 正徳 永安 健次 ※1 湊 浩二郎	山口 裕二 崎山 信幸 林 健二 大村 哲史 草津俊比古 長野 孝道 市岡 博道 ※5 田中 稔	柴山 賢一 松尾 俊哉 久野 秀敏 永田 秀人 小野原 茂 古家 勉 山下 隆良	賢一 俊哉 宮島 武雄 佐藤 文子 大塚 克史	森田 浩 宮島 武雄 佐藤 文子 大塚 克史	※4 小田 徳頭	宮田 京子	山下 廣大	久保 葉人						
一般 ※1	九州・長崎特定複合観光施設区域整備計画の認定申請に係る同意	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

6月定例会

○：賛成、×：反対

議案名	会派名及び所属議員名	自民		市民		公明		共産		歩み		市政		葉風		議決結果
		松尾 裕幸 田山 藤丸 鶴 大地 角田隆一郎 橋之口裕太 北野 正徳 永安 健次 ※4 湊 浩二郎	山口 裕二 崎山 信幸 林 健二 大村 哲史 草津俊比古 長野 孝道 市岡 博道 ※5 田中 稔	柴山 賢一 松尾 俊哉 久野 秀敏 永田 秀人 小野原 茂 古家 勉 山下 隆良	賢一 俊哉 宮島 武雄 佐藤 文子 大塚 克史	森田 浩 宮島 武雄 佐藤 文子 大塚 克史	※4 小田 徳頭	宮田 京子	山下 廣大	久保 葉人						
請願 (継続審査事件) ※4	子どものために「新型コロナウイルス関連に伴う全ての差別、誹謗中傷を防ぐ施策」の推進及び、「マスクの強制や同調圧力の無い、真に子どもの健康や明るい未来を考える施策」の推進にかかる請願	○	×	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	

【会派名】自民＝自民党市民会議、市民＝市民クラブ、公明＝公明党、共産＝日本共産党、歩み＝歩みの会、市政＝市政会、葉風＝葉風会  
 ※1：湊浩二郎議員は4月臨時会を欠席したため、4月臨時会の全ての採決に加わっていません。  
 ※2：湊浩二郎議員、宮島武雄議員、小田徳頭議員は、5月臨時会を欠席したため、5月臨時会の全ての採決に加わっていません。  
 ※3：崎山信幸議員は6月14日から21日まで欠席したため、6月20日の採決に加わっていません。  
 ※4：湊浩二郎議員、小田徳頭議員は、6月定例会を欠席したため、6月定例会の全ての採決に加わっていません。  
 ※5：田中稔議長は採決に加わりません。  
 【参 考】今回議決した議案(議会関係、意見書及び請願以外)は、市長により提案がなされたものです。

主な議案

4月臨時会、5月臨時会及び6月定例会で議決された主な議案の概要は、次のとおりです。

4月臨時会

九州・長崎特定複合観光施設区域整備計画の認定申請に係る同意

長崎県が設置運営事業予定者と共同して九州・長崎特定複合観光施設区域整備計画を作成し国土交通大臣へ認定を申請することに同意するものです。

5月臨時会

令和4年度一般会計補正予算(第2号)

補正額 3億9,947万円の増額  
 (補正後の一般会計予算額1,217億2,857万円)

＜補正の主な内容＞

【民生費】低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金3億9,947万円の増額

6月定例会

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

補正額 12億5,981万円の増額  
 (補正後の一般会計予算額1,229億9,016万円)

＜補正の主な内容＞

- 【民生費】国民健康保険事業特別会計繰出金など1,851万円の増額
- 【衛生費】予防接種事業費など591万円の増額
- 【農林水産業費】農業生産資材価格高騰対策事業費など1億6,860万円の増額
- 【商工費】電子地域通貨・させぼe振興券発行事業費など8億9,431万円の増額
- 【土木費】道路施設更新事業費など1億5,178万円の増額
- 【港湾費】港湾施設改良費統合補助事業費1,980万円の増額
- 【教育費】小・中学校教育活動推進事業費90万円の増額

# 委員会の審査から

6月定例会中に常任委員会(総務委員会、都市整備委員会、文教厚生委員会、企業経済委員会)が審査した議案の一部及び4月臨時会中に特別委員会(特定複合観光施設( I R )推進特別委員会)が審査した議案について、主な審査の概要をお知らせします。

総務

## デジタル田園都市国家構想推進交付金をDX推進事業費などの財源として組替え

所属委員:◎橋之口裕太、○田山藤丸、松尾俊哉、久保葉人、佐藤文子、永田秀人、松尾裕幸

議案名: 令和4年度佐世保市一般会計補正予算(第4号)

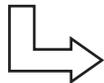
[内容] デジタル田園都市国家構想推進交付金4,112万円の交付決定により、DX推進事業費などの財源に組替えを行い、あわせて、コミュニティセンター管理運営事業費に係る地方債の限度額4,660万円を廃止するもの。

### 委員会(質疑)

- ・ デジタル田園都市国家構想推進交付金については、国から対象となるシステムなど、詳細な指定がされているのですか。

### 市(答弁)

- ・ 国からは、システムなどについて詳細な指定はされていないため、本市の判断で交付金を充当する事業を決定することができます。本市は、デジタル田園都市国家構想推進交付金制度要綱の交付対象事業として示された取組の中の、「他の地域等で既に確立されている優良モデル・サービスを活用した実装の取組」に該当する事業として、コミュニティセンターへのWi-Fiの導入や、キャッシュレス化の推進に係る事業などを申請し、国から交付決定を受けています。



委員会では全会一致で可決

都市整備

## 道路施設更新事業費を計上

所属委員:◎大塚克史、○鶴大地、宮田京子、山口裕二、小野原茂、草津俊比古、長野孝道、山下隆良

議案名: 令和4年度佐世保市一般会計補正予算(第4号)

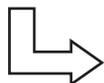
[内容] 安全・安心な道路環境整備の進捗を図るため、福石天神町線及び尼潟循環線の市道2路線に対する舗装工事費として、1億1,140万円を計上するもの。

### 委員会(質疑)

- ・ 今回、舗装工事の対象路線が福石天神町線及び尼潟循環線となっていますが、これら2路線が選定された理由は何ですか。

### 市(答弁)

- ・ 福石天神町線については、道路ストックの総点検によって路面の性状を数値化した維持管理指数が悪いとされる道路の割合が最も高かったため、これを工事实施の優先順位の指標として、本路線を選定しました。また、尼潟循環線については、維持管理指数が悪いとされる道路の割合は低いものの、その距離は長く、大型車の交通量が比較的多かったため、本路線を選定しました。大型車の交通量が多い路線ほど舗装の損傷が早いといった調査結果もあることから、これを優先順位の指標としています。



委員会では全会一致で可決

文教  
厚生

## 小・中学校教育活動推進事業費を計上

所属委員：◎林健二、○宮島武雄、  
山下廣大、崎山信幸、柴山賢一、  
大村哲史、市岡博道  
小田徳顕(欠席)

議案名：令和4年度佐世保市一般会計補正予算(第4号)

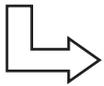
[内容]長崎県教育委員会から「長崎県「学びの活性化」プロジェクト実践モデル校事業」の委託を受け、実践モデル校として指定した江上小学校・宮中学校において行う研究事業に係る経費として、90万円の予算を計上するもの。

### 委員会(質疑)

- ・実践モデル校は小・中学校それぞれ1校のみとなっていますが、選定はどのように行っているのですか。

### 市(答弁)

- ・毎年度、市立小中学校から研究指定校を指定し、授業改善や学校力向上等に取り組む実践研究を実施しています。今回の実践モデル校は、研究指定校の指定を長期間受けていない学校を選び出した上で、研究事業の内容を踏まえた学校の組織力等を考慮し、決定しています。



委員会では全会一致で可決

企業  
経済

## 電子地域通貨・させぼe振興券の 発行事業費を計上

所属委員：◎久野秀敏、○角田隆一郎、  
北野正徳、永安健次、森田浩、古家勉  
湊浩二郎(欠席)

議案名：令和4年度佐世保市一般会計補正予算(第4号)

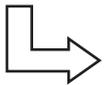
[内容]コロナの影響に加えて、原油価格・物価高騰の影響を受ける市民及び事業者を支援する緊急経済対策として、20%のプレミアム付商品券を電子券・紙券併用で発行する経費として8億6,755万円の予算を計上するもの。

### 委員会(質疑)

- ・今回の「させぼe振興券」発行事業では、これまで実施してきた振興券事業の反省点や改善点が生かされているのですか。

### 市(答弁)

- ・これまでの紙形式のみの振興券では、購入時に販売所に並ぶことや、まとめ買いにより販売所の商品券に不足が生じるなど、利用者側には購入時の負担があり、事業者側にも商品券の集計や換金する作業に多大な手間がかかるといった課題がありました。振興券を電子化することで、接触機会の低減や利用者・店舗の利便性向上が図られることに加え、利用状況の情報がデータ化されるため、そのデータを収集分析して、新たな経済活性化の政策に生かしていくことができます。



委員会では全会一致で可決

市側に要望  
した事項

- ・商品券の発行、運用に当たっては、混乱を来すことがないように十分な準備と確認を行い、利用促進につながるよう周知に努めること。
- ・広く市民に行き渡るように工夫し、利用範囲が一部の市民に限られることがないように、留意すること。
- ・今後の地域活性化や商工業の振興に生かせるシステム開発に意を用いて取り組むこと。

特定複合  
観光施設  
(IR)特別

## 長崎県が設置運営事業予定者と共同して IR区域整備計画を作成し認定申請することに同意

所属委員：◎市岡博道、○大塚克史、  
鶴大地、松尾俊哉、角田隆一郎、  
永田秀人、山下廣大  
湊浩二郎(欠席)

議案名：九州・長崎特定複合観光施設区域整備計画の認定申請に係る同意の件

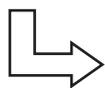
[内容]長崎県が設置運営事業予定者と共同して九州・長崎特定複合観光施設区域整備計画を作成し国土交通大臣へ認定申請することに同意することについて提案するもの。

### 委員会(質疑)

- ・ IR区域周辺における渋滞対策も当然必要ですが、渋滞に伴って周辺的生活道路に進入してくる車両に対し、地元住民の安全安心を担保するための対策として、どのような方法を考えているのですか。
- また、ギャンブル等依存症対策においては、医療人材の育成に加えて、福祉人材の育成も必要と考えますが、育成に当たって、どのような取組を行っていくのですか。

### 市(答弁)

- ・ 市外から道路を利用してIRに来訪される方は、基本的に高規格道路へ誘導するため、福岡方面からの西九州自動車道の暫定2車線区間の早期事業着手などについて国へ要望していくとともに、IRの従業員の通勤車両については、従業員の住宅の場所が明らかになっていく中で生活道路の整備に着手していきます。
- また、ギャンブル等依存症においては、医師による治療に至る前の段階でのサポートが必要と考えており、地元高等教育機関との連携によるソーシャルワーカー等が参画する枠組みについて研究を進めていきます。



### 委員会では全会一致で可決

市側に要望  
した事項

- ・ IR開業に伴うさらなる渋滞の発生により、周辺住民の生活環境が脅かされることが懸念されるため、生活道路を含む市道の改良・整備においては、周辺住民の意見を踏まえ、柔軟に対応していくこと。
- ・ IRの誘致推進に伴って進めてきた、ギャンブル依存症以外のその他の依存症への対策についても、今後も着実に推進していくため、医療人材及び福祉人材の育成をはじめとした医療提供体制等の整備に努めること。

※ 所属委員の◎は委員長、○は副委員長

## 議会提案で条例等を改正しました

議案名：1 市議会の権限に属するものを市長の専決処分とする事項指定の件

2 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部改正の件

### 【改正内容】

- 1 市長が専決処分できる事項に、次の事項に係る「変更契約」を、新たに指定
  - (1) 契約金額の変更（変更前の契約金額の10分の1の額以下のものに限る。）
  - (2) 契約期間の変更
- 2 議会の議決に付すべき工事又は製造の請負契約の予定価格を、「2億円以上」に改める。

○本市が締結する工事又は製造の請負契約のうち、1億5,000万円以上のものは、契約締結時のほか、契約金額や契約期間を変更する際も、議会の議決が必要でした。

しかし… 変更契約を締結するまでの間、以下のような問題が生じていました。

変更契約に時間がかかる ⇒ ○工事進捗が遅れる

○交通規制など、地域住民の方々の日常生活に支障を及ぼす期間が長くなる 等

この問題を解決するため、変更契約のうち、一部を市長の専決処分とし、議決を不要としました。【改正内容1】

また、消費税率改定や近年の物価上昇を踏まえ、議決を要する契約金額を引き上げました。【改正内容2】

# 一般質問



一般質問は、市が当面する諸問題について、質問や提言を行うものです。令和4年6月定例会は、15人の議員が行いました。質問項目の一部を掲載していますが、一般質問の全体の模様は、市議会ホームページのインターネット中継（録画中継）でご覧になれます。  
 [ ] 内には、質問と答弁時間の合計を記載しています。

## 市有林について

自民党市民会議 **はやし けんじ** 林 健二 [40分]

**問** 生産に適した利用期を迎えた市有林について、適正な主伐や再造林に配慮しつつ、分収林を中心に計画的な主伐を実施し、収入財源確保の点からも効率的な運用を検討すべきではないかと考えます。市有林の主伐については、適した区域の集約化や具体的な精査などが必要ですが、現在、検討が開始された木質バイオマス事業の具体的な計画次第では、間伐や主伐により伐採された木材のうち、残材や未利用間伐材等の活用が大いに見込まれることから、民有林に先駆けて、市有林の主伐が必要な時期となり得ると確信していますが、市有林における主伐の方向性について伺います。

**答** 主伐の実施には、木材の市場価格の推移や施業コ

スト、災害発生リスク等を考慮して、時期や場所の見極めが大事であると認識していますが、今後の主伐については一定の方向性を見出すことも必要と考えています。特に、主伐の課題である収益性については、令和4年度から佐世保市が取り組んでいる佐世保市木質バイオマス事業可能性検討業務の中で、主伐後の不用材をバイオマス燃料として活用することが可能であれば、収益性の改善が図られることから、主伐を進めていく大きな契機となるものと考えています。今後のバイオマス事業の経過を見据えながら、主伐の取組や計画をより具体化していきます。

その他の質問 ▼佐世保市の地域医療体制について

## 依存症対策の強化について

市民クラブ **ながた ひでと** 永田 秀人 [30分]

**問** 長崎県が実施した令和2年度の「ギャンブル等の問題に対する意識や行動傾向の調査」によると、「過去1年間にギャンブル等依存症が疑われる者」は人口の約2%存在するという事です。これを踏まえると、カジノを含む特定複合観光施設（IR）の動向とは無関係に対策を進めるべきだと思います。そこで、依存症に関する佐世保市の取組状況や課題認識、今後の方向性について伺います。

**答** 依存症は、アルコールやギャンブルなどの嗜癖（しへき）行動を繰り返すうちに脳が変化し、自分の意志では行動をコントロールできなくなる脳の病気ですが、適切な支援を得ることで回復に向かうことができる病

気でもあります。本市では長崎県とも連携しながら「相談支援」「普及啓発」「回復支援」に取り組んでいますが、相談件数が伸びていません。これは、依存症が患者本人・家族が病的問題として受け入れるまでに時間がかかることや依存症についての正しい理解が進んでいないという背景があるものと推察しています。本市には専門医療機関がありませんが、長崎県の依存症診療ネットワーク事業を通じて専門医からの助言を得られる体制を整えており、今後とも有効な治療・回復のため、適切に対応していきます。

その他の質問 ▼バスの運行見直しに伴う通学利用者への影響について

## 市営住宅の在り方について

公明党 **みやしま たけお** 宮島 武雄 [40分]

**問** 市営住宅の大半は、高度経済成長期に建設されたことから、建て替えによる更新を進められていますが、一方で、エレベーター未設置の市営住宅に住む高齢の方からは設置の要望があります。更新時での設置では、一定の期間を要するため、長崎県が実施したように後づけエレベーターを設置できませんか。

また、今後の施策として、鹿屋市が行った「子育て支援住宅PFI事業」のように、本市でも介護施設や学童施設などの併設によって、多様で幅広い世帯が安心して住み続けられるような、福祉や子育ての利便性の高い複合型の住環境の整備ができませんか。

**答** 長崎県が設置している後づけエレベーターは、敷

地の都合で設置が困難な住宅が一定数あり、設置に伴って入居者の共益費の負担が増加するといった課題がありますが、現在、見直し中の市営住宅長寿命化計画の中で各住宅の特性を踏まえ設置を検討していきます。

また、複合型の住環境の整備については、本市でも民間事業者が土地を借り上げ、国の補助金を活用して施設を整備され、地域の多様な世代の交流促進の場となっている事例があり、今後も議員御紹介の事例の研究を進めるとともに、住生活基本計画の策定と並行して、今後の市営住宅の役割を整理しつつ佐世保市に安心して住み続けられる居住環境の構築を目指します。

その他の質問 ▼地方創生臨時交付金の活用について

### 教育現場における子どもの心のケアについて

歩みの会 みやた きょうこ 宮田 京子 [20分]

**問** 長引くコロナ禍において、様々な環境の変化によるストレスなど、子どもの心への影響が懸念されますが、不登校が増加していることや、文部科学省の調査結果から、その影響は特に小学生において顕著に表れています。県が配置し、児童生徒の心のケアに当たるスクールカウンセラー等について、市も体制の充実に取り組んでいますが、常勤配置を含めたさらなる充実を図るため、研究を進め、各方面に粘り強く要望すべきではないですか。また、本市でも独自の取組で心のケアを行い、一定の効果を上げている小学校があるとのことですが、そのような特色ある取組を全ての市立小中学校で共有する場を設けることはできませんか。

**答** コロナ禍において、ストレスや不安、悩みなどの相談が増えており、本市においても、感染症を理由として登校できなかった児童生徒が一定数いた中で、これまで拡充を図ってきた相談体制が効果的であったと考えています。スクールカウンセラーの常勤配置については、県教育委員会においても、児童生徒の心のケアに係る役割の重要性に鑑み、国に対し配置充実を要望していることから、市も連携して取り組んでいきます。また、本市の小学校で「黙想指導」として行われた取組など、各学校における特色ある取組については、今後、管理職の研修会や養護教諭、保健主事等の研修会において情報共有を図っていきたいと考えています。

### 中学生の運動部活動について

自民党市民会議 まつお ひろゆき 松尾 裕幸 [40分]

**問** スポーツ庁から「学校と地域が協働・融合した形で地域におけるスポーツ環境の整備」の方針が示されました。中学校の運動部活動を地域に移管し、持続可能な形態とする理念は理解しますが、環境整備には様々な課題があると推察されます。教育委員会におけるその課題認識と、解決に向けた今後の取組について伺います。

ます。スポーツ庁は、退職教師やスポーツ推進委員等、地域のスポーツ指導者の方々を指導者として想定しているため、人員確保や様々なニーズに対応する組織づくり、運動機会を確保するための拠点施設の整備が求められます。

以上の課題に対応するため、市長が招集する総合教育会議のテーマとして、運動部活動の地域移行を取り上げ、今後の方向性について協議したいと考えています。あわせて、教育委員会の関係各課で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、各種スポーツ団体等と連携を図りながら地域移行への道筋を検討していきます。

その他の質問 ▼子育てしやすいまちづくりについて

### 救急医療体制について

市民クラブ しばやま けんいち 柴山 賢一 [40分]

**問** 香川県では、患者の同意の下、医療機関で受けた診療情報は、全てセンターサーバーに集められ、その情報は緊急時や災害時、ワクチン接種の場合など、どここの医療機関でも見ることができるネットワークを構築しています。現在、佐世保市が推進している第7次総合計画におけるICTの活用、佐世保市DX戦略の中で、香川県のように医療分野においても、佐世保市が長崎県をリードする意気込みで取り組んでいただきたいと思います。市長の所見を伺います。

が効率的で、その効果も大きいものと考えます。国の骨太方針2022において、全国どこでも診療歴等の医療情報、予防接種や介護情報等が病院・診療所などで閲覧できるほか、患者自身もマイナポータルを経由して情報の閲覧が可能になるなど、あらゆる情報が共有でき、将来的には救急や災害時においても、適切で迅速な対応が可能となる全国医療情報プラットフォームの創設が明記されました。本市としましては、国の動きに合わせ、市医師会や市内医療機関とも連携の上、機を逸することのないよう、国や県への提案・要望を行うとともに、医療分野におけるDXの戦略的な推進についても、意を用いて積極的に対応していきます。

**答** 医療分野におけるDX化の必要性については十分認識していますが、本市独自によるシステム導入よりも国や県全体で実施するなど、広域的に進めること

### スポーツコミッションについて

自民党市民会議 たやま ふじまる 田山 藤丸 [40分]

**問** スポーツを通じ、大会・合宿の誘致、アクティビティの創出等により人的交流を促進し、地域活性化等を図るために地方自治体やスポーツ協会、民間事業者等の様々な主体が連携する組織「スポーツコミッション」に関し、佐世保市における課題や今後の展望も含め、現在の取組はどのような状況ですか。また、大会等の誘致には、スポーツ施設の機能向上も不可欠ですが、野球場など、老朽化が進んでいる相浦の総合グラウンドの建て替えに係る検討について、現在の進捗状況はどのようになっていますか。

には事前キャンプを受け入れましたが、費用負担や競技団体との調整等、受入れ時期の問題もあり、一定規模以上のイベントについては、平成23年度以降は実績がありません。今後の方向性について、現在スポーツ推進計画を策定中ですが、経済活性化や健康づくり等にも活用できるよう、スポーツの可能性について検討していきます。また、総合グラウンドの再整備については、本市が有する全てのスポーツ施設を対象とした再編計画の策定を予定し、令和6年度末には全体の整備方針を定めることを目標としており、必要な機能等を整理した上で改めて検討したいと考えています。

その他の質問 ▼これからの離島振興について

「個別最適な学び」の現状について

自民党市民会議

つる  
鶴

だい  
ち  
大地 [40分]

**問** 「スマート・スクール・SASEBO構想」が目指す姿である「個別に最適化された学び」を効果的に実現するには、1人1台端末によるデータの蓄積と分析、その活用が重要です。未来へ向けた子どもたちのよりよい成長のために、今後どう取り組みますか。

**答** 一人一人の学習状況に応じて、適切な指導や学びを進めるため、1人1台端末を全ての児童生徒が学校や家庭で存分に活用する環境を整備し、令和4年度から、国や他自治体等が作成した問題に端末を用いて取り組むメクビットを全市立学校で導入しています。児童生徒は、このテスト結果を即座に確認することで、自分の課題を認識することができ、さらに利用が進む

ことで学習履歴が蓄積され、ビッグデータとして教育のデータ解析に活用できるようになります。これら学習データは、小学校入学から中学校卒業までの9年間を継続的に保存、活用していきます。このデータ分析等を行う専門職員の配置は今後の研究事案ですが、まずは、パートナー自治体としてGoogle社の知見を活用していきたいと考えています。令和3年度に本格運用を開始した1人1台端末の利用率100%へ向け、今後、利用推進について啓発を図り、全ての児童生徒の個別最適な学びの実現に向け、最善を尽くしていきます。

その他の質問 ▼証拠に基づく政策立案(EBPM)の推進について

防犯灯の管理について

自民党市民会議

やまぐち  
山口

ゆうじ  
裕二 [40分]

**問** 鹿町町では観光振興と防犯灯の機能を兼ねて街路灯が設置されており、他の合併地域と同様に地元自治会等での管理とするため、無償譲渡に向けた協議が行われてきましたが、折り合いがつかず本年度中に撤去するとのことで、地元では児童生徒の通学時における不安の声が上がっています。老朽化している街路灯の撤去費用や街路灯と防犯灯の電気料金の差額が地元負担となることが譲渡を受けない理由であるため、負担軽減の方法を検討するとともに、防犯灯の維持のため、引き続き地元自治会等と協議できませんか。

**答** 防犯灯などによって夜間の通行の安全を確保することは、市としても安全安心な市民生活には必要であ

ると認識しており、特に児童生徒の帰宅時の安全については、地域を挙げての取組が大切です。そのため、街路灯が一斉に撤去されることは避けるべきであり、少ない負担で維持ができるように、今後も地元自治会や商工振興会と協議を重ねていきます。あわせて、現在の自治会への防犯灯電灯料の補助制度について、自治会から九州電力への電灯料の支払いを自治体新電力会社の西九州させばパワーズ(NSP)が行い、市の補助金はNSPが受け入れることで、支払いや補助申請等の事務処理の負担を軽減する新たな制度を考えていますが、そのような手法も踏まえて、新たな負担軽減の方法がないか検討していきます。

疾病予防対策について

公明党

さとう  
佐藤

ふみこ  
文子 [40分]

**問** がん治療に伴う脱毛などの副作用をケアするため、かつら等の補正用具の助成を行うアピアランスケアの必要性について、令和2年3月定例会においても同趣旨の質問を行い、既に2年以上が経過しています。その間、全国においては助成制度を有する自治体が増加し、国からも自治体での対応をお願いしたいとの発言もあっています。現在、長崎県内で助成制度を創設している自治体は平戸市をはじめ少数ではありますが、本市においてもがん治療の患者に寄り添い、助成制度を創設することについての見解を再度伺います。

**答** アピアランスケア助成事業は、がん治療による脱毛などの外見の変化を補完し、がん患者が尊厳を持っ

て安心して暮らせる社会の構築へのサポートを行うものであり、多くの自治体で支援の輪が広がっています。

前回の質問時においても、がん患者の尊厳を守るため大変重要なことであり、大きな助けとなることについては十分理解している旨を回答していました。

今後、本市としても、アピアランスケアに対する助成の意義と重要性を改めて考慮した上で、次年度の予算編成に向けて、支援の対象をどのようにしていくべきかなど、制度の枠組みについて、具体的な検討を進めていきます。

その他の質問 ▼佐世保市犯罪被害者等支援条例について ▼公共交通政策の在り方について

学校給食について

自民党市民会議

さきやま  
崎山

のぶゆき  
信幸 [40分]

**問** 昨今の物価高騰について、頻繁に報道で取り上げられていますが、保護者の方からは、給食費の値上げや、おかずの内容への影響を気にする声があります。物価はまだ下がらないと考えますが、厳しい状況が続くなら、給食費の値上げなど、何らかの影響が出るのではないですか。そこで、これらの影響を想定したときに、どのような対応を取っていくのかお尋ねします。

**答** 昨今の物価高騰の影響ですが、特に、青果物に関しては、今後の価格上昇が考えられ、また、年間契約の食材についても、価格決定後の物価高騰が続いており、生産コストが増加し、現在の価格で供給することが難しくなる事態も想定されます。学校給食の実施に

おいて、食材費は受益者である保護者が負担することが原則とはなっていますが、今回の想定を超える物価高騰による保護者の負担増を考えると、年度途中で給食単価を増額改定することはできないと考えています。国においても、物価高騰に伴う学校給食費に関する負担軽減のために、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用することも可能とされていますので、物価動向等の現況を精査し、現在の給食費でどうしても対応が難しい状況が想定される場合には、同交付金の活用も含め、公費において食材費などの不足分を負担することを早急に検討したいと考えています。

その他の質問 ▼市内のコミュニティについて

### 佐世保市の水道給水開始115周年 記念事業について

すみだ りゅういちろう  
自民党市民会議 角田 隆一郎 [40分]

**問** 本市は、給水開始115周年になります。この機会に記念事業を行い、渇水の歴史を広く市民・県民へ広報し、同時に石木ダムの必要性に共感していただく努力をすべきと考えます。平成6年の大渇水では、最大で48時間連続断水、2日間で5時間しか水が出ない給水制限に見舞われました。石木ダム建設予定地の移転していただいた8割以上の方々の御同意に感謝し、ダム建設の早期着工を目指すことが何より大切であると広く広報すべきと考えますが、市の見解を伺います。

**答** 本市は常に渇水のリスクを抱えた状態であり、市民の皆様の実情を伝え、石木ダム建設に関して、御協力をいただくことは何より重要なことと考えています。

100周年のイベントなど、過去に行った取組の趣旨は、「平成6年の大渇水を二度と繰り返したくない」との啓発活動を通じて、川棚町の住民の方々に思いを伝えたいというものでした。現在、最高裁判所の判断も示され、石木ダムの必要性が確定した段階にあると認識しており、従来の目的に加え、「本当に水が足りていないのか」という事柄に関して、市民の皆様説明していきたいと考えています。広報紙や説明会だけでなく、長崎県や川棚町とも連携し、広く発信していくことも検討したいと考えています。

その他の質問 ▼水道局庁舎の安全性と今後の対策について

### 公共施設が一つもない日野地区への 行政の考え方について

おのほら しげる  
市民クラブ 小野原 茂 [40分]

**問** 本市の日野地区には、約9,000人の住民が生活しているにもかかわらず、地区の中に、生涯学習やスポーツ等の活動ができる公共施設がありません。平成30年度に、現在の相浦地区コミュニティセンターの供用が開始されましたが、日野地区からは距離が離れているため、利用者が少ない状況です。子どもたちを地域で育てるためには、身近なところで生涯学習等が行える施設が必要であり、屋内体育施設があれば、スポーツのほか書道教室等の文化活動にも利用でき、子どもから高齢者まで世代を超えた交流の場の創出にもつながります。そこで、日野地区への公共施設の新設の方向性について、市の見解を伺います。

**答** 日野地区における公立公民館の整備については、平成23年度の市政懇談会において、43ヶ町を相浦地区として総合庁舎の新設要望があり、相浦・日野の両地区を包含する形で、現在の相浦地区コミュニティセンターを建設しています。センターには屋内体育室も整備しているため、日野地区へのコミュニティセンターや体育施設の新設は難しいものと考えています。また、移動手段として、センター利用に特化したコミュニティバスの導入は困難ですが、交通不便地区対策では、コミュニティ拠点施設を経由するルート設定も勘案しながら、真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

その他の質問 ▼水源不足の現状と情報発信について

### 聴覚障がい者福祉について

ながやす けんじ  
自民党市民会議 永安 健次 [40分]

**問** 佐世保市手話言語条例が施行されてから4年を迎えますが、条例制定後の取組とその評価、さらには、そこから見えてきた課題や今後の展開、及び義務教育段階での手話の理解につながる取組について伺います。

**答** 各種施策の取組により聴覚障がい者への支援をはじめ、手話が言語であるという市民の方々の認知向上や手話に対する理解促進に一定の効果が上がっているものと考えています。

一方、手話のさらなる浸透という課題については、講座の申込み要件や開催日程等から特に若年層や手話に触れる場面の多い事業者等にとって参加しづらい状況も一部見受けられるため、夏休み期間等を利用して

短期間講座を開催するとともに、事業所等についても希望に応じた出前講座を積極的に行うなど、手話に親しみ学ぶ機会の拡充を推進し、手話のより一層の浸透を図っていきます。

また、教育委員会においても、早い段階から子どもたちの手話への理解につながる機会の充実を図ることは重要であると認識しています。今後とも校長研修会等を通じて、学校における聴覚障がい者をはじめとした障がいのある方々との共生を含む障がい理解や、インクルーシブ教育の重要性について改めて周知し、共生社会の担い手としての資質の育成に努めていきます。

その他の質問 ▼自治会組織の位置づけについて

### 安全で安心できるまちづくりについて

ひさの ひでとし  
市民クラブ 久野 秀敏 [30分]

**問** 安全で安心できるまちづくりの観点から、2点お尋ねします。まず、昨年11月に早岐3丁目で発生した建物火災で、同地区管轄の消防分団に出動指令が出ていないのはなぜですか。次に、新たに10月から開始される防犯灯維持管理支援事業について、町内会や実際に交換作業を行う佐世保電気工事業協同組合の組合員の方、これまで町内会の防犯灯管理を請け負われていた街の電気屋さん等から心配の声が上がっています。本事業はメリットも多くなれば進めてほしいと考えますが、これらの声に対し、どう対応していくのですか。

**答** 消防の出動体制は、火災発生場所に最短時間で到着できる分団を選別する直近方式を採用していますが、

同地区のほか一部地域も、管轄分団を選定しないと判明したため、現在は見直しを行っています。次に、防犯灯事業ですが、組合員でない事業者から、これまでの仕事を失う心配や、町内会から「お世話になった業者に引き続き頼めないのか」等の質問がありました。更新計画は西九州させばパワーズが立て、組合が作業の割り振り等を行いますが、組合だけで年間2,000灯程の対応は困難で、組合員以外でも事業に参加する方法を検討中と伺っています。市としても要望された町内会等へ個別説明も行い理解が進むよう努めます。

その他の質問 ▼メタバース(仮想空間)・NFT(非代替性トークン)の活用について

# 政務活動費

## 令和3年度 政務活動費収支報告一覧

議員の市政に関する調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5万円を政務活動費として会派に交付しています。

令和3年度分について、収支報告書（領収書等の関係書類含む）が議長に提出されましたので、その収支及び内訳について以下のとおりお知らせします。

（単位：円）

		政務活動費総額	自民党市民会議	市民クラブ	公明党
交 付 額		18,950,000	10,650,000	4,200,000	2,400,000
支 出 額		11,784,109	5,984,323	3,244,632	1,492,160
支 出 内 訳	調 査 研 究 費	397,194	48,670	348,524	0
	研 修 費	79,760	1,000	66,880	0
	広 報 費	5,747,630	3,545,813	1,149,376	703,428
	広 聴 費	2,240	2,240	0	0
	要 請・陳 情 活 動 費	86,045	82,665	3,380	0
	資 料 購 入 費	648,974	323,853	208,909	48,100
	事 務 費	4,822,266	1,980,082	1,467,563	740,632
残 額（返 還 額）		7,165,891	4,665,677	955,368	907,840

		日本共産党	歩みの会	市政会
交 付 額		600,000	600,000	500,000
支 出 額		317,184	280,747	465,063
支 出 内 訳	調 査 研 究 費	0	0	0
	研 修 費	0	0	11,880
	広 報 費	0	178,304	170,709
	広 聴 費	0	0	0
	要 請・陳 情 活 動 費	0	0	0
	資 料 購 入 費	68,112	0	0
	事 務 費	249,072	102,443	282,474
残 額（返 還 額）		282,816	319,253	34,937

※いずれの会派においても支出のなかった支出内訳(会議費・資料作成費・人件費)については、表示していません。

なお、収支報告の詳細等については、佐世保市議会ホームページにも掲載しています。

スマホ・タブレット用  
QRコード



（収支報告のページに  
ジャンプします）

### 議会からのお知らせ

令和4年4月臨時会において、下記特別委員会の名称及び設置目的を変更しましたので、お知らせします。  
なお、特別委員会委員の構成に変更はありません。

**基地政策特別委員会（旧：基地対策特別委員会）**

設置目的 ① 基地政策方針の推進

② 自衛隊基地及び米軍基地に関すること

③ その他基地に関すること

# 議会の活動

※3月定例会の終了後、6月定例会開会までの常任委員会等の活動を掲載しています。

## ▼3月

- 24日 文教厚生委員会協議会[学校再編推進事業の進捗及び今後の計画について/児童生徒用1人1台端末内部への異物混入について]
- 31日 総務委員会協議会[佐世保市交通船事業の経営戦略について/佐世保市総合計画(基本構想)の変更について]

## ▼4月

- 1日 基地対策特別委員会[基地対策特別委員会の名称及び設置目的の変更について]
- 12日 議会運営委員会[4月臨時会について/その他]
- 21日 都市整備委員会協議会[議会の議決に付すべき工事請負契約内容の見直しについて/エコスパ佐世保営業再開について/させぼエコステーション(仮称)事業者決定について]
- 28日 議会運営委員会[国・県要望活動の日程について/「市議会の権限に属するものを市長の専決処分とする事項指定の件」に係る事項の指定等について]

## ▼5月

- 9日 議会運営委員会[「市議会の権限に属するものを市長の専決処分とする事項指定の件」に係る事項の指定等について]
- 12日 文教厚生委員会協議会[「住居確保給付金」支給額算定誤りによる誤支給(過払い)について]
- 16日 議会運営委員会[「市議会の権限に属するものを市長の専決処分とする事項指定の件」に係る事項の指定等について]
- 23日 議会運営委員会[5月臨時会について/その他]

## ▼6月

- 1日 文教厚生委員会[請願第22号子どものために「新型コロナ関連に伴う全ての差別、誹謗中傷を防ぐ施策」の推進及び、「マスクの強制や同調圧力の無い、真に子どもの健康や明るい未来を考える施策」の推進にかかる請願(継続審査事件)]
- 7日 議会運営委員会[6月定例会の付議事件並びに会期日程等について/その他]

## 陳情

6月定例会には、陳情6件が提出され、議会運営委員会にて取扱いを協議の上、所管の委員会に送付しました。

### 【総務委員会に送付】

- ・国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情
- ・「佐世保市長様と佐世保市議会議員様たちは、一本化した西肥バスの本数が、市民の為に、給付金を支給した結果、不便さがないかを監視する重大な責任があること」を陳情します。

### 【都市整備委員会に送付】

- ・朝長市長と、土木部管理課の不正についての陳情

### 【都市整備委員会・文教厚生委員会に送付】

- ・「十郎新町から東浜町に通じる新しい道路の学童通学道路に、縁石歩道の整備とガードレールやフェンスの設置と制限速度30kの道路標識の設置等を陳情します。」

### 【企業経済委員会・石木ダム建設促進特別委員会に送付】

- ・「佐世保市の人口減少と少子化で、佐世保市学校再編をしなければならないのに、石木ダム建設は、中止すべきです。市民に多額の水道料金を科すべきではないこと」を陳情します。

### 【基地政策特別委員会に送付】

- ・沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

## 人事案件

6月定例会では、人事に関する案件2件が提出され、議会としては同意しました。

- 佐世保市農業委員会委員任命の件 北村 憲治 氏
- 佐世保市固定資産評価審査委員会委員選任の件 田淵 俊一 氏

## 請願・陳情についてのお知らせ

令和4年9月定例会で取り扱う **請願・陳情の提出期限は、8月25日(木)午後5時15分までを予定しています。**  
提出予定の方は、お早めに議会事務局にお問合せください。